



開催要項あり
チラシあり

令和7年7月10日

市政記者クラブ 様

観光文化交流局名古屋城総合事務所

担当：瀬川、原 電話 231-2481

名古屋城西の丸御蔵城宝館^{おくらじょうほうかん}展示

「表書院の障壁画—めずらしい動物—」
の開催について

名古屋城西の丸御蔵城宝館では、令和7年7月18日(金)から8月31日(日)まで、館内展示室において展示「表書院の障壁画—めずらしい動物—」を開催します。

名古屋城本丸御殿の室内は、御用絵師である狩野派の障壁画によって彩られました。寛永11年(1634)の増築部分を含む現存する本丸御殿障壁画のうち、今回は表書院の障壁画とそれに関連する資料を公開します。

表書院の障壁画には、三之間の麝香猫^{じゃこうねこ}や上段之間の吐綬鶏^{とじゅけい}など、主に中国からもたらされた珍しい動物が描かれていました。時の権力者たちはこのような舶来品に関心を寄せており、絵画の画題として広く用いられました。

時を経て、舶来品は明治時代の博覧会にも出品され、「博覧会諸人群集之図」(名古屋城振興協会蔵)には市井の人々も珍しい動物を鑑賞していた様子が描かれます。

本展では、異国の動物が集う空間をお楽しみいただきます。

取材をご希望の場合は、開催に先立つ令和7年7月17日(木)午後2時から対応できますので、随時名古屋城調査研究センター(tel. 231-2481)までご一報ください。市政記者クラブの皆様方には積極的に取材・広報いただきますようお願い申し上げます。

記

1 名古屋城西の丸御蔵城宝館展示

「表書院の障壁画―めずらしい動物―」 概要

(1) 会期

令和7年7月18日(金)～8月31日(日)

会期中は無休(ただし、催事等で変更になる場合があります。)

※展示状況は、ホームページ掲載の出品目録にてお知らせします。

(2) 開館時間

午前9時00分～午後4時30分(最終入館：午後4時00分)

(3) 会場

名古屋城西の丸御蔵城宝館内展示室(中区本丸1-1)

(4) 観覧料

無料(別途名古屋城観覧料500円が必要です)

(5) 内容

別紙開催要項をご参照ください。

2 報道機関向け取材対応

(1) 日時

令和7年7月17日(木) 午後2時から会場での対応ができます。

随時名古屋城調査研究センター(tel. 231-2481)までご連絡ください。

※ 解説をご希望の場合は担当学芸員との日時調整が必要となりますので、必ず事前に名古屋城調査研究センター(tel. 231-2481)までご連絡いただきますようお願いいたします。

(2) 場所

名古屋城西の丸御蔵城宝館内展示室(正門入ってすぐ)

(3) 内容

各自でご覧いただくほか、担当学芸員が解説することもできます。展示室内の解説は、30～40分程度を予定しています。解説の前後に各自でご覧いただくこともできます。

以上